

東証一部(証券コード 6848)

個人投資家様向け 会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長 高橋 俊夫

平成29年12月13日

- 1. 会社概要**
- 2. 主要製品ご紹介**
- 3. 中期経営計画と重点施策**
- 4. 株主還元・株価**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

「水・大気・ガス・医療」の計測技術を柱に、総合計測機器メーカーとして、環境計測から化学分析まで幅広い分野で人々の暮らしを支えています。

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 昭和19年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結 609名、単独 346名

事業所： (狭山市) 狭山テクニカルセンター・開発研究センター・医療関連機器生産棟
(東大和市) 東京エンジニアリングセンター

営業所： 国内13ヵ所

連結子会社： 国内6社：主に製造(山形と岩手)とサービス



本社ビル

社会のニーズに技術で応え続けて70余年



社会の出来事 (環境関連)

昭和30年～
産業公害発生

昭和40年～
公害対策基本法等の
環境法の整備

昭和50年～
都市化による水質汚濁
→水質総量規制(現 第7次)

平成21年
環境基準
PM2.5が制定

事業領域・製品

水

●昭和29年
卓上型pH計 HM-5 (A)
平成26年「分析機器・科学
機器遺産」に認定



大気

●昭和38年
日本初「窒素酸化物自動
測定装置」(旧・厚生省の
プロジェクト)

●昭和44年
大気中オキシダント計

●昭和45年
日本初「河川水質監視装置」
(旧・建設省の委託、淀川と
多摩川に設置)



**医療
関連**

●昭和54年
臨床検査機器を販売

ガス ●平成17年
バイオニクス機器(株)子会社化

●平成22年
PM2.5測定装置



●平成14年
全窒素・全りん/COD自動
測定装置(第5次総量規制
に対応)

●平成15年
A4サイズの小型水道水用
水質自動測定装置(東京都
多摩地区78箇所に設置)

会社の出来事

●昭和19年
東亜電波工業(株)設立



●昭和20年
電気科学計器(株)設立



合併

●平成12年
東亜ディーケーケー(株)誕生



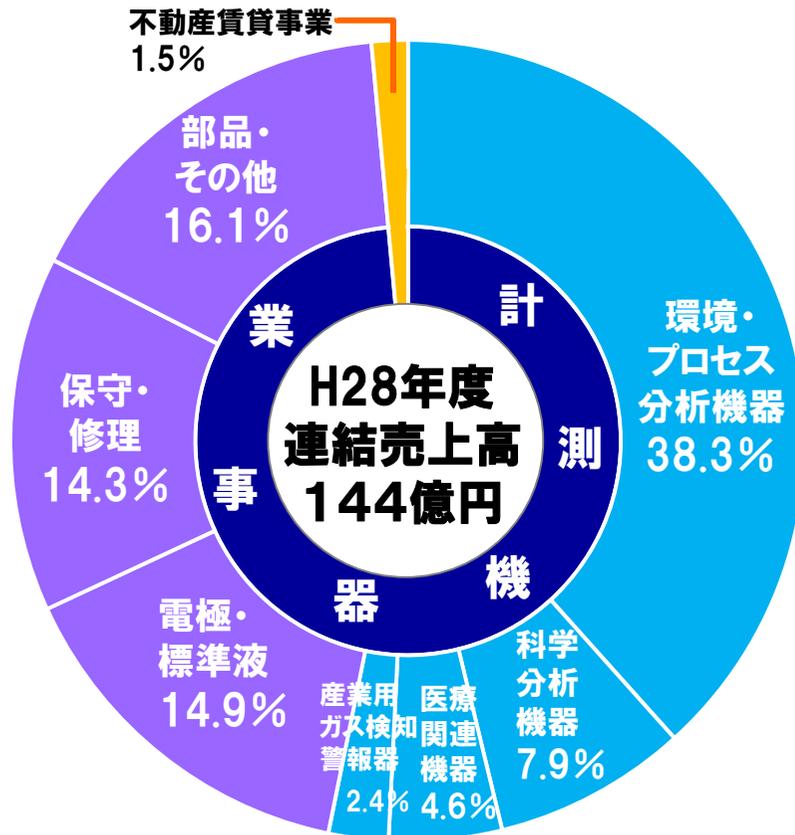
●平成17年
米国HACHと
業務・資本提携

●平成25年
東証一部上場

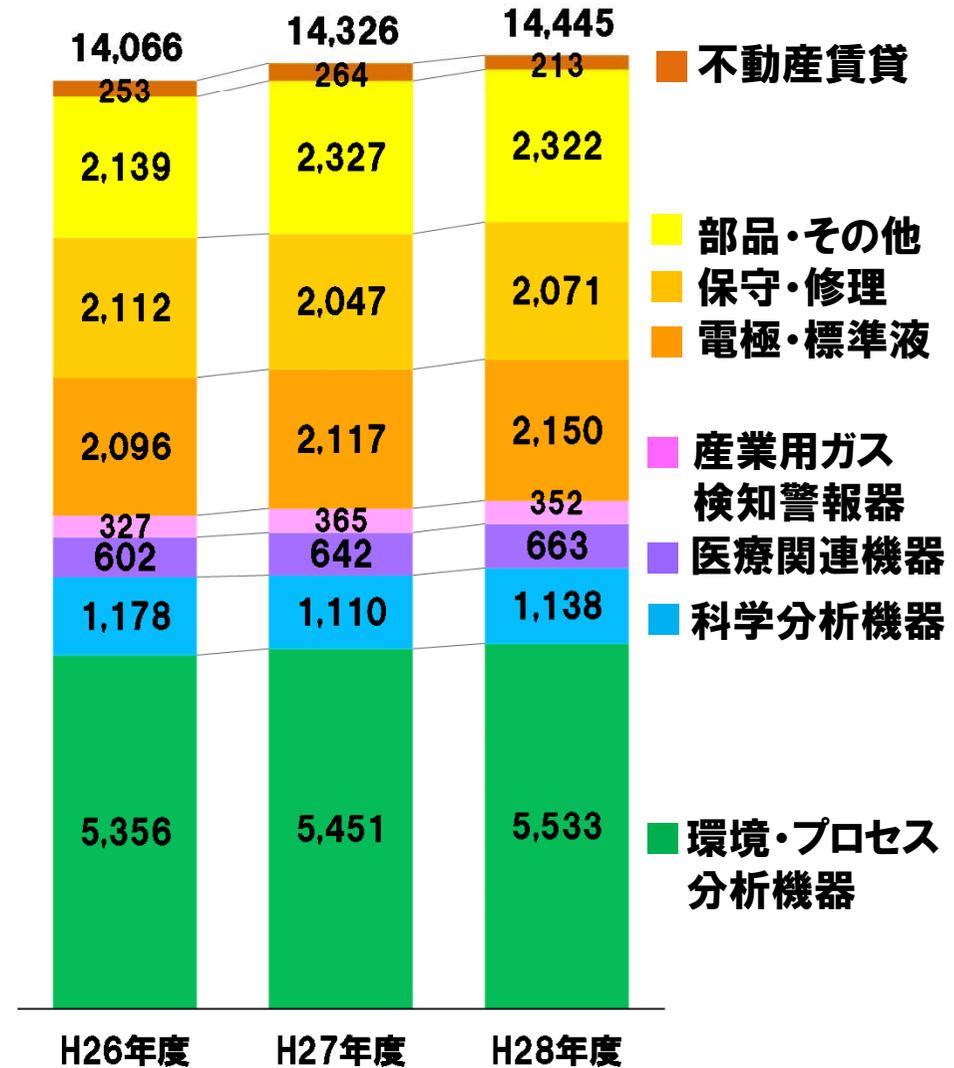
●平成26年
創立70周年



事業構成と推移



(単位:百万円)



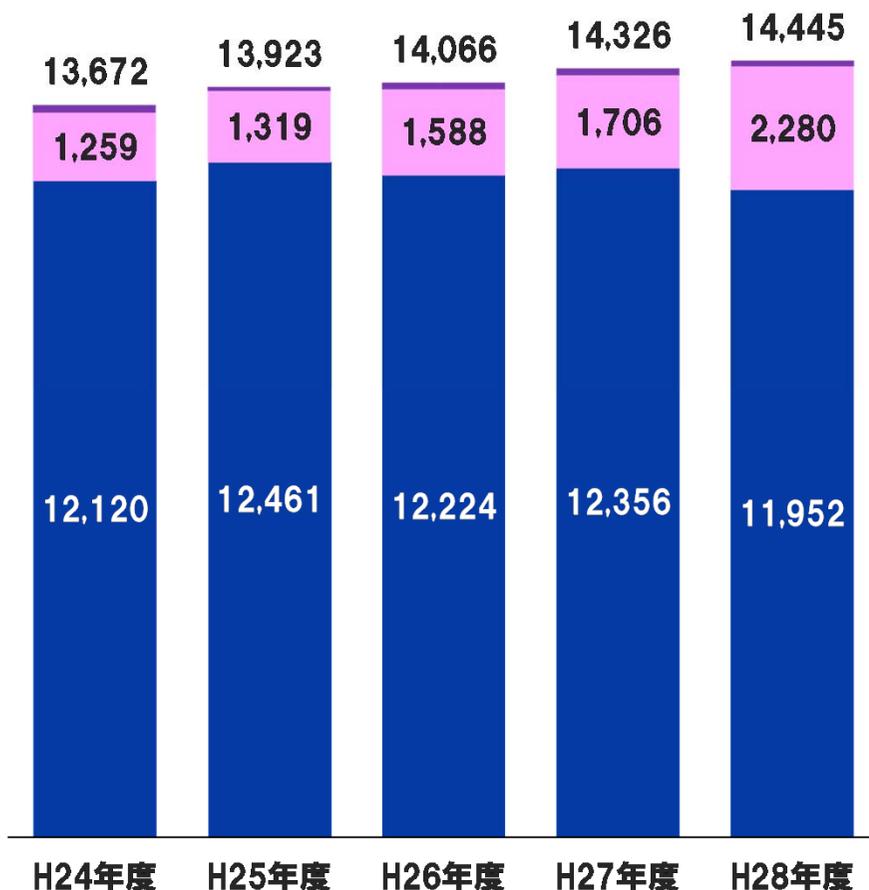
国別売上高推移



(単位:百万円)

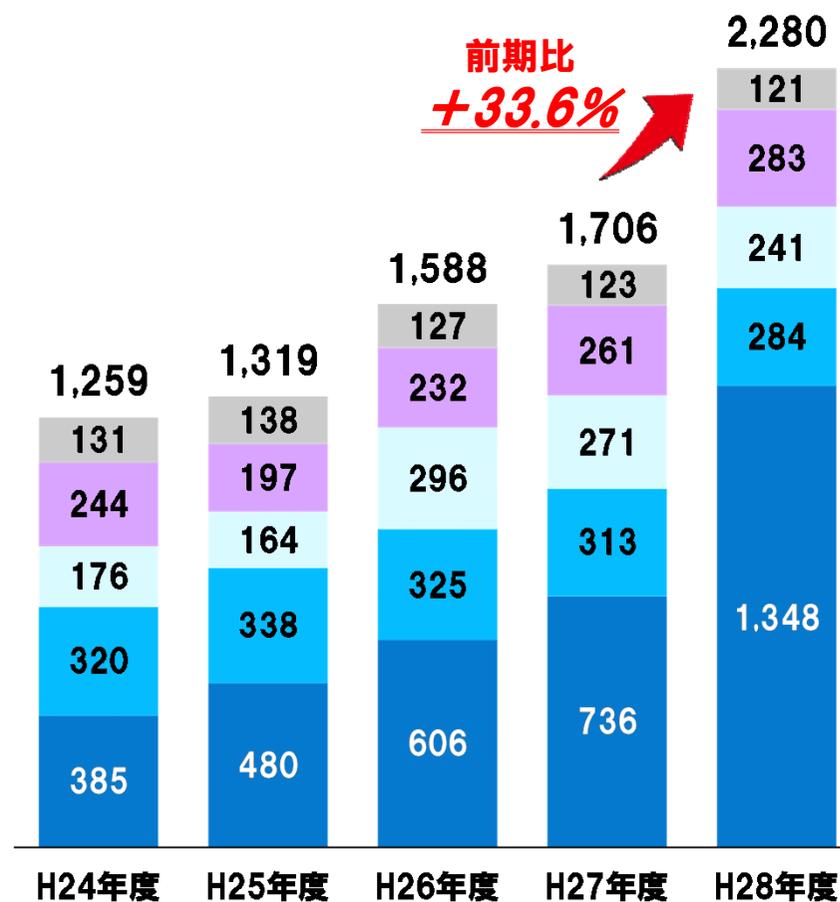
国内外の売上高

- (計測機器)国内売上
- (計測機器)海外売上
- 不動産賃貸



海外の国別売上高

- 中国
- 韓国
- 台湾
- その他のアジア
- その他



1. 会社概要
- 2. 主要製品ご紹介**
3. 中期経営計画と重点施策
4. 株主還元・株価

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

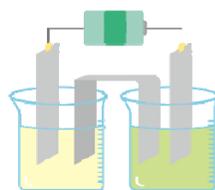
当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 官公庁から幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス(保守・修理)までの一貫体制

水	大気	ガス	医療
<p>環境・プロセス分析機器</p> <p>水道水用水質自動測定装置</p> <p>全窒素全りん計</p> <p>pH計変換器</p> <p>電気伝導率計</p> <p>油膜検知器</p>	<p>PM2.5測定装置 国内シェアNO.1</p> <p>大気SO₂SPM測定装置</p>	<p>産業用ガス検知警報器</p>	<p>医療関連機器</p> <p>NEW</p> <p>透析用粉末用剤溶解装置</p> <p>エンドキシン計</p>
<p>科学分析機器</p> <p>ラボ用水質計</p> <p>ポータブル用水質計</p>			

水 あらゆる分野の水質管理をサポート





ラボ用分析機器

- ➡ 卓上型、簡単操作、高精度な測定
- ➡ 大学や試験研究機関での化学分析や生産ラインの品質管理など様々な分野での水質分析に使用

ポータブル分析計

- ➡ 小型・軽量・省電力・防水設計
- ➡ 製造工程の水質管理や排水の監視、川・湖での環境監視のため、現場での簡易測定に使用



マルチ水質計
(Xシリーズ)

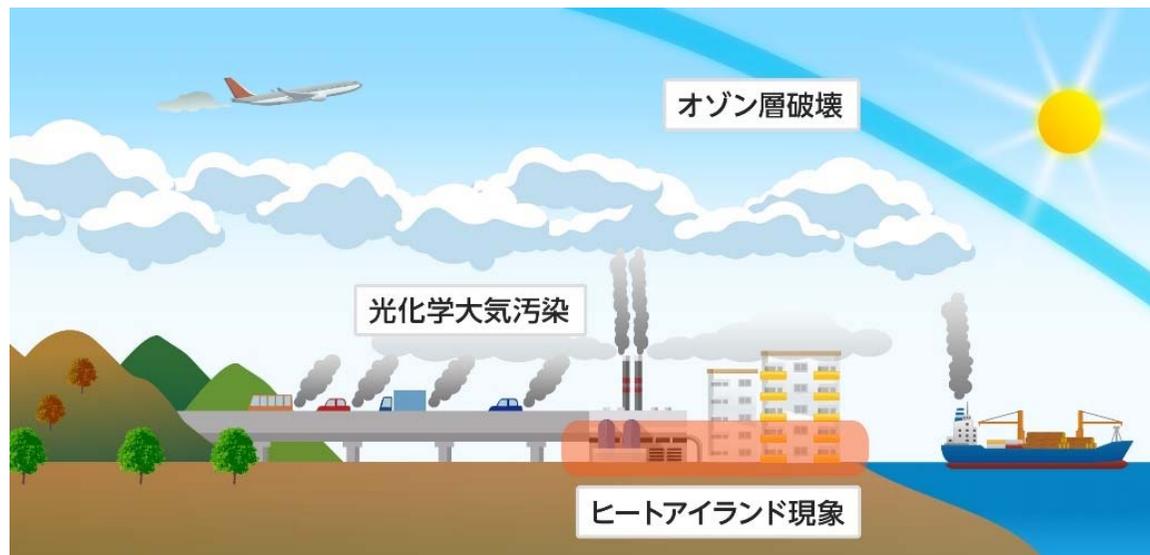


水質計



蛍光式溶存酸素計
(HACH製)

大気 大気汚染状態を監視



環境大気移動測定車



NO.1
国内シェア
約60%
PM2.5
測定装置



大気SO₂SPM
測定装置

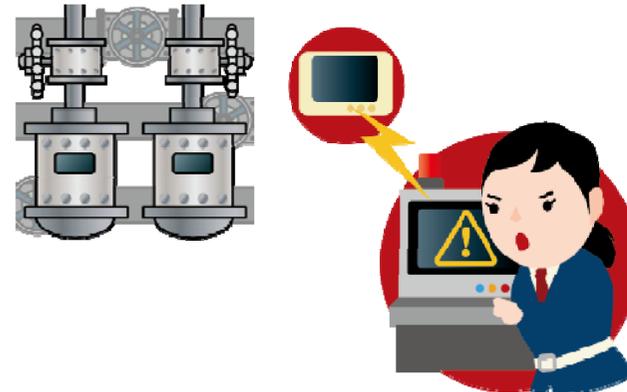


排ガス分析計

ごみ焼却施設や各種工場からの排ガスに含まれる大気汚染物質濃度を測定



排ガス
測定装置



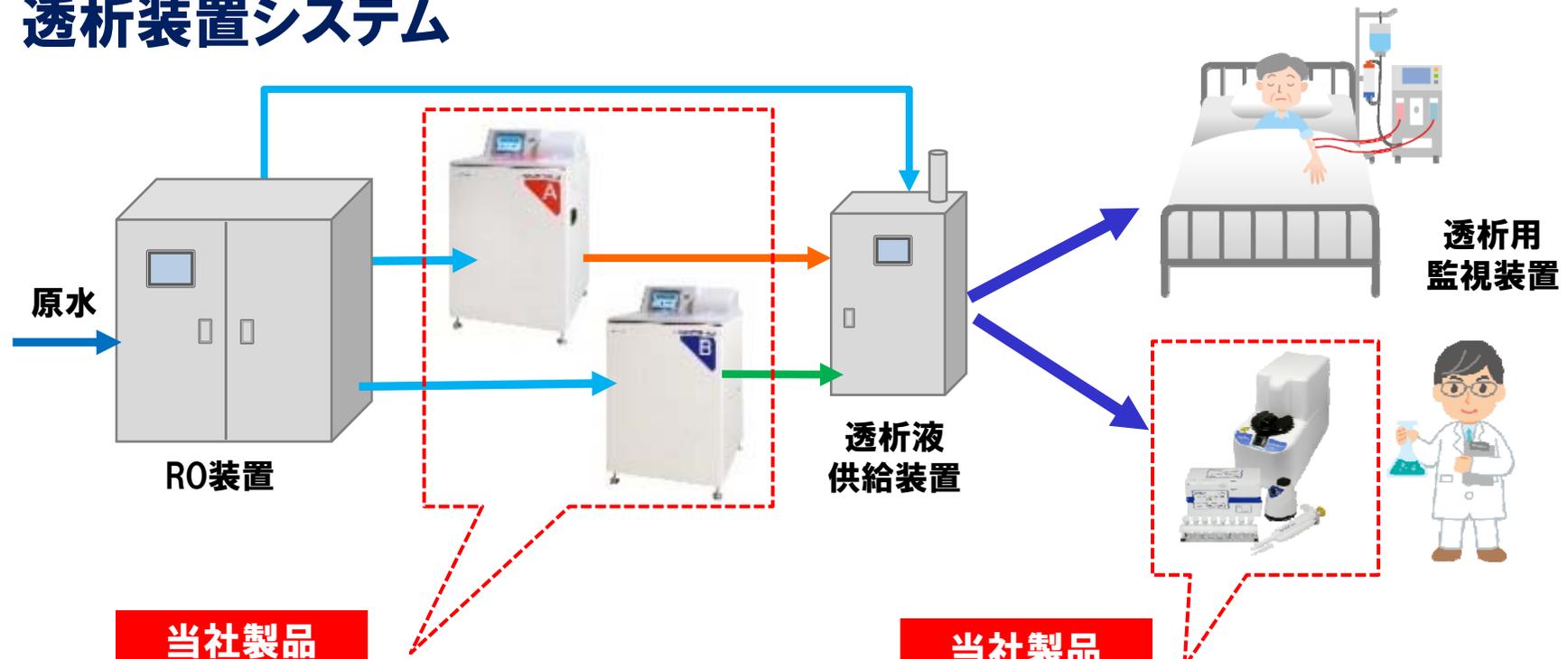
ガス検知警報器

半導体工場など製造工程で使用する危険なガスの漏洩を検知し警報



毒性ガス
検知警報器

透析装置システム



当社製品

透析用粉末用剤溶解装置
(A剤・B剤溶解装置)

センサ技術で粉末剤を一定濃度に溶解し、透析原液を安定供給

最大70床までの供給が可能

当社製品

NEW エンドキシン計
「ルミニッツ-ET」

透析液及び透析用水を管理する測定器

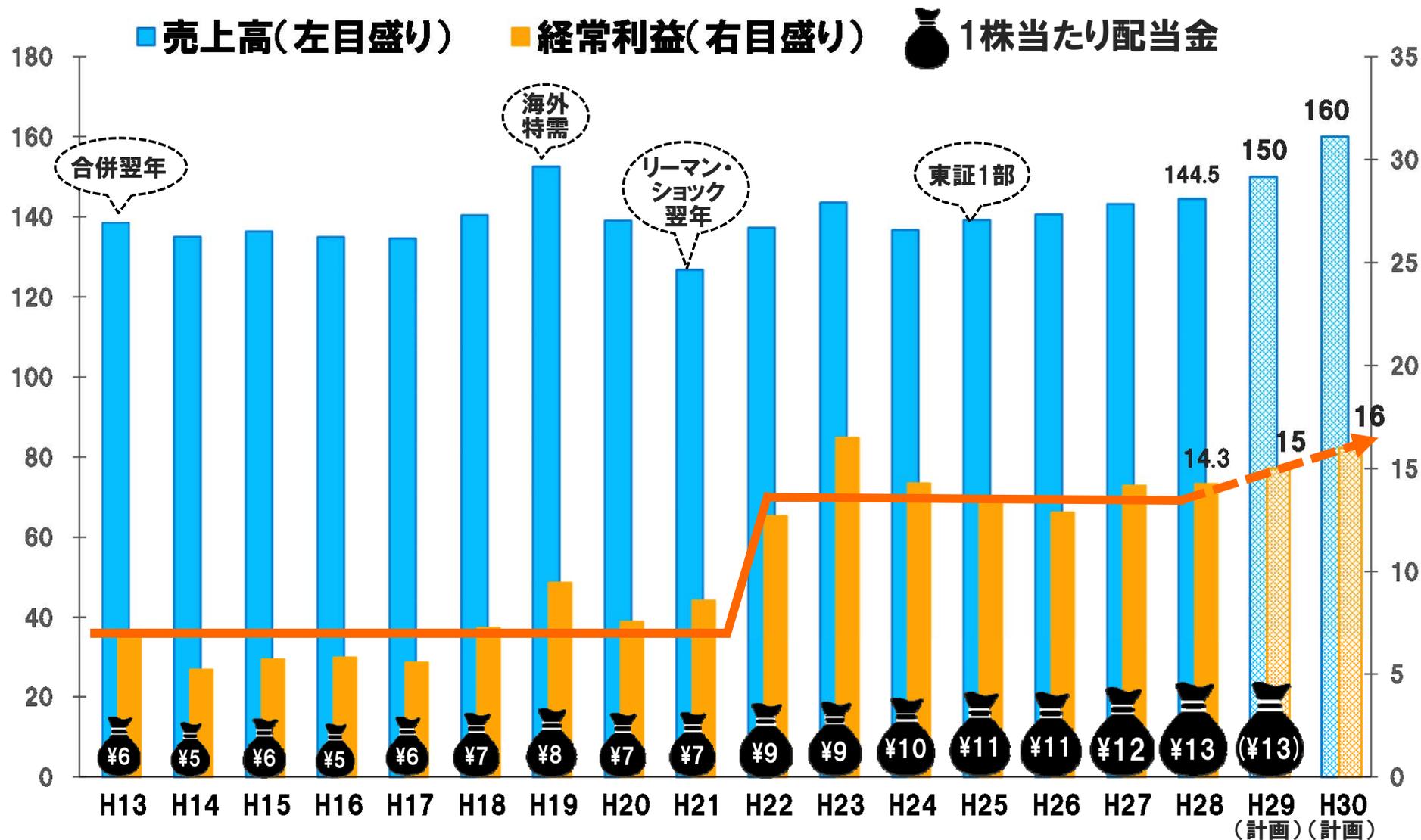
1. 会社概要
2. 主要製品ご紹介
- 3. 中期経営計画と重点施策**
4. 株主還元・株価

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

業績推移



(単位:億円)



経営路線

1. グローバル企業を目指す
2. 安定から成長に大転換する

第2次HYBRID経営計画(3カ年)目標値

	H28年度実績	H29年度予想	H30年度目標
売上高	144億円	150億円	160億円
経常利益(率)	14億円(9.9%)	15億円(10.0%)	16億円(10%)
海外売上高比率	15.8%	18%	20%
新製品革新率*	11.8%	18%	25%
棚卸資産回転率	7.6回転	8回転	8.5回転
ROE	9.4%	8.5%	8.5%

*発売から3年以内の新製品
(モデルチェンジ含む)の売上貢献率

特別利益(賃貸用不動産売却益)除いた場合のH28年度ROEは7.6%

平成29年度通期業績予想(修正なし)



- ☞
世界的に環境保全と医療関連に関する需要は高い
 (環境計測)国内:更新需要の獲得と市場回復に伴う受注推進
 海外:中国等アジア地区に積極的な営業活動推進
 (医療関連計測)大手医療機器メーカーへの長期安定供給見込み
- ☞
医療関連機器の新生産棟の償却費負担、その他諸経費増も発生するも、経営改革の推進により一定の利益を確保

(単位:百万円)

	H28年度 実績	H29年度 予想	前期比	
			金額	増減率
売上高	14,445	15,000	554	3.8%
営業利益	1,365	1,470	104	7.7%
経常利益	1,426	1,500	73	5.1%
当期純利益	1,226	1,000	△226	△18.5%

特別利益(賃貸用不動産売却益)338百万円

平成29年度上期実績サマリー



- 👉 売上高は国内・海外ともに好調に推移し増収
- 👉 収益は売上高の増加とコスト削減により増益
- 👉 単月黒字化:平成21年9月以降 **8年1ヵ月 = 97連勝中**

(単位:百万円)

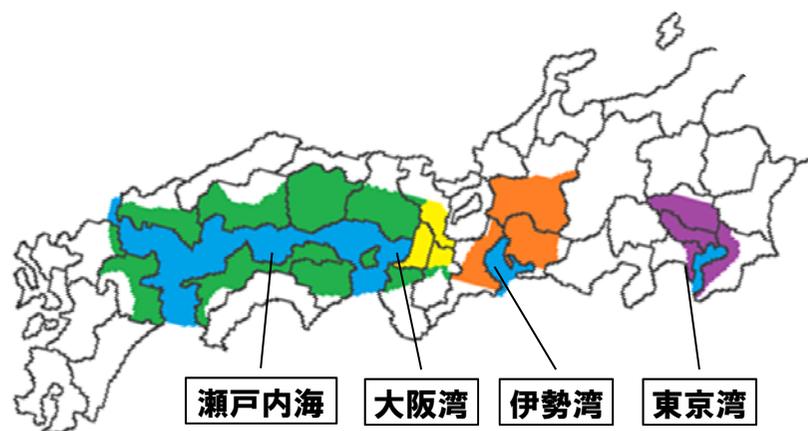
	H28年度 上期実績	H29年度 上期計画 (5月9日公表)	H29年度 上期実績 (10月31日公表)	前年同期比増減	
				金額	率
計測機器事業	6,268		6,648	+379	6.1%
不動産賃貸事業	108		131	+23	21.4%
売上高	6,377	6,600	6,779	+402	6.3%
営業利益	361	430	548	+187	51.9%
経常利益	410	440	577	+167	40.8%
四半期純利益	234	250	358	+123	52.7%

📍 第5次水質総量規制*の更新需要に対応

*閉鎖海域で排出される有機汚濁物質の総量を規制する制度。
第5次総量規制では、従来のCOD(化学的酸素要求量)に加え、
新たに窒素・りんが規制の対象となった。

適用日:H14年10月1日、 目標年度:H16年度

水質総量規制の指定水域および指定地域



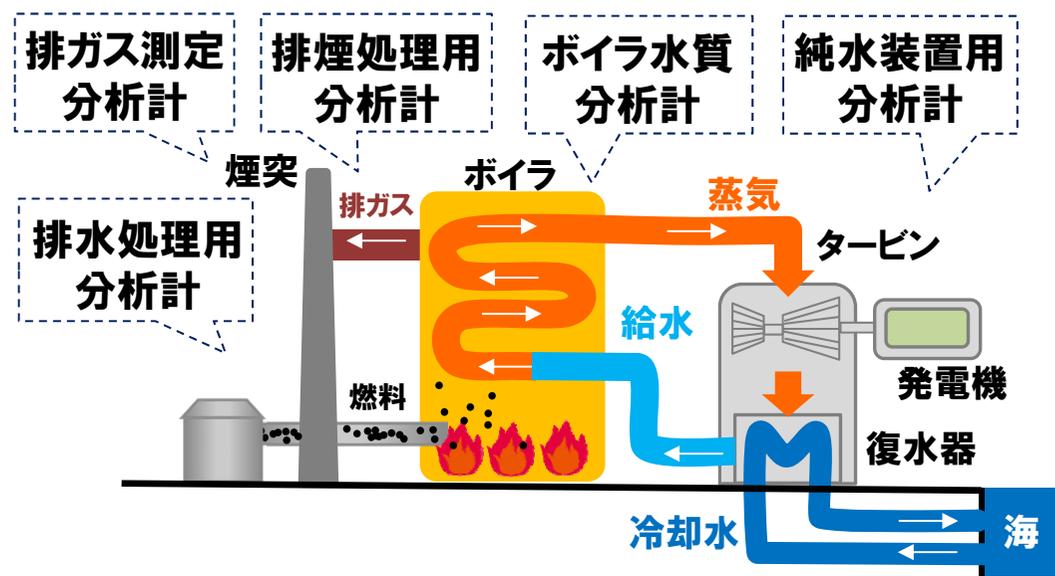
主な環境水質分析計



🔍 火力発電所の増新設需要に対応

- 👉 東日本大震災以降、火力発電所の新增設計画の増加
(大規模発電所はH32年以降に稼働)
- 👉 バイオマス発電の増加

(例) 火力発電所で使用される計器



計器の一例



🔍 透析用剤溶解装置*の生産拡大 *人工腎臓用粉末型透析用剤溶解装置

👉 10月から新生産棟が稼働し、大手医療機器メーカー向け増産が本格化



<医療関連機器生産棟概要>

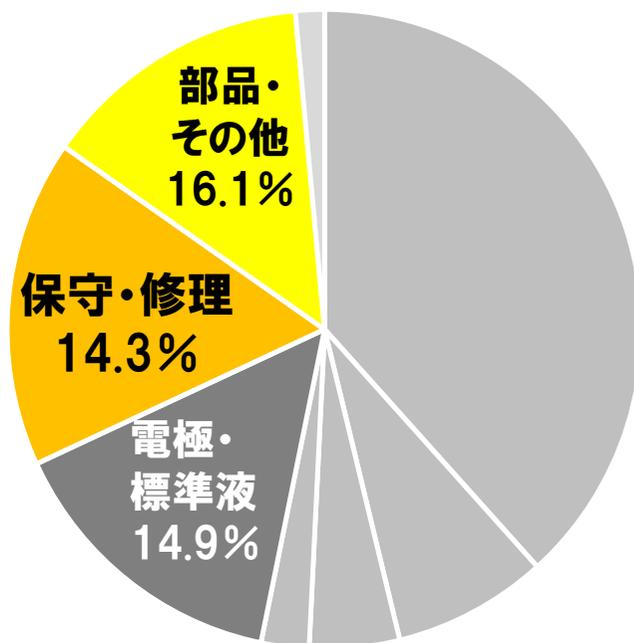
建屋概要:

延床面積 約3,300㎡
鉄筋造 地上4階建

主な用途:

生産ライン、試験評価設備、
クリーンルーム

🔍 水道管理事業の民間委託化に伴う 保守・点検などのニーズ増加に対応



- 技術サービスにより既存客先の信頼性向上と深耕
- サービス委託会社と共同でIoTを使った遠隔監視、リモートメンテナンスが可能な水質計を品揃え





水

河川水質モニタリング体制整備事業に積極的なアプローチを継続中



河川の水質データをモニタリング



制作中の水質のモニタリングステーション



当社製品 内部の水質測定器



大気

改訂版・大気汚染防止法に基づくVOC*排出規制に対し、提携した中国現地企業と協業で受注活動中

*VOC (Volatile Organic Compounds)
揮発性有機化合物でPM2.5の生成物質



VOC政策とモニタリング技術講習会
(H29年6月 北京・中国環境保護部)

国際認証取得の推進

PM2.5測定装置の国家認証を

- ・平成27年11月 中国
 - ・平成28年12月 韓国
- において取得



中国の認証書



韓国の認証書



性能試験の様子

海外の大規模展示会に出展



上下水道関連でアジア最大級の
国際展示会
“シンガポール国際水週間2016”

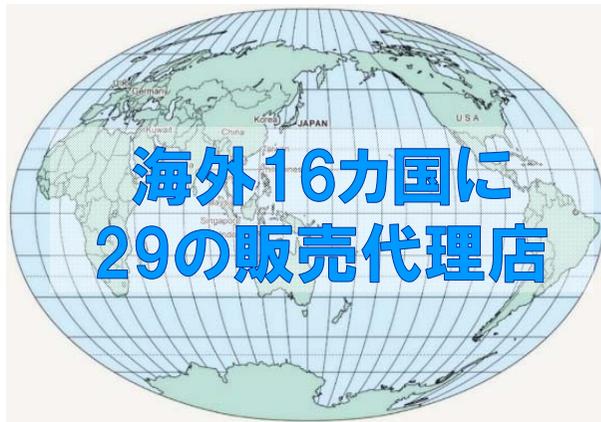


アジア最大規模の環境博覧会
“第18回中国環境博覧会
(IE expo 2017)”



第39回 International Exhibition
on Environmental Technology &
Green Energy(ENVEX 2017)

海外代理店の拡充：今上期で2社と提携



海外技術研修生の受け入れ



アジア大気汚染研究センター (ACAP)
「大気観測技術コース」

6カ国(韓国、タイ、マレーシア、モンゴル、ラオス、ロシア)から参加



JICA／北九州技術協力会(KITA)
「水環境行政コース」

6カ国(アフガニスタン、ウガンダ、エチオピア、カンボジア、スリランカ、ソマリア)から参加

1. 会社概要
2. 主要製品ご紹介
3. 中期経営計画と重点施策
- 4. 株主還元・株価**

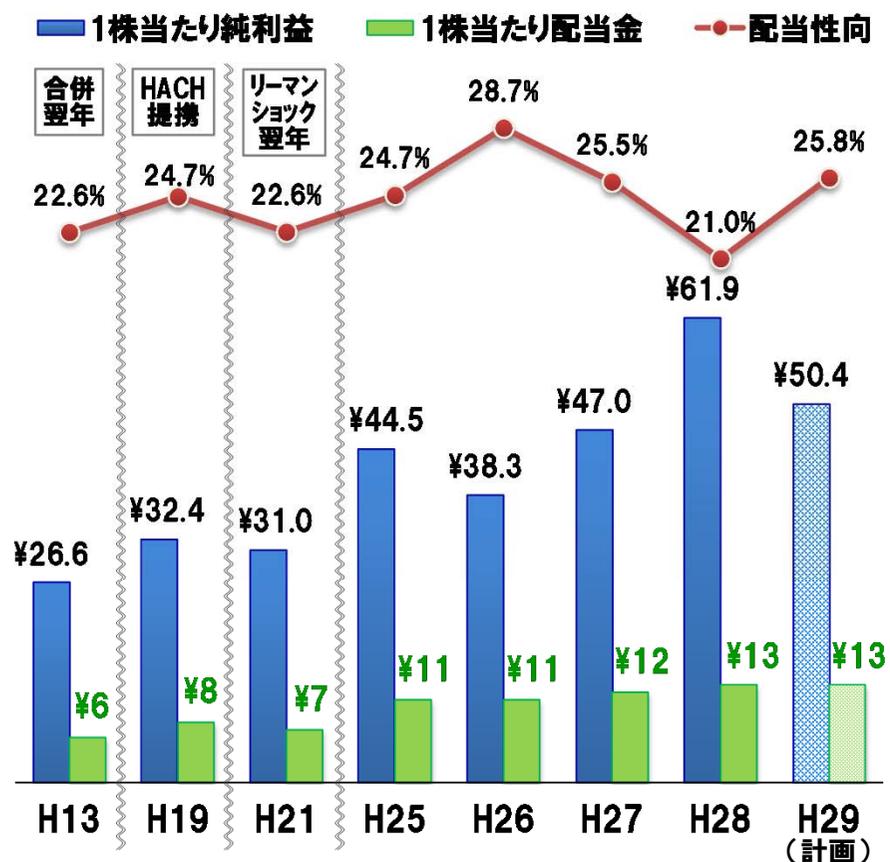
注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

株主還元(配当金・株主優待)



- 株主様への利益還元を経営の最重要政策と位置づけ
- 将来の事業展開への内部留保を勘案し、業績に応じ安定的な配当を継続

配当金・配当性向の推移



株主優待

毎年9月末現在の株主名簿に記載された株主様に、「緑の募金」付クオカードを贈呈



所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

株価の推移



株価	単元株式数	必要投資金額	市場
990円(H29年12月8日現在)	100株	約10万円	東証1部



証券コード

6848

$$6 \times 8 = 48$$

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp